

心電図・脈波や呼吸の解析

3-2) RR 間隔 または Peak to Peak 間隔 をテキスト出力する

波形のピークを検出し、その間隔を時系列で表示した後で、テキスト出力を行います。
テキスト出力することで、表計算ソフト上での加工や、他ソフトへの読込が可能になります。

以下の2つの表示では、それぞれテキスト出力する方法が異なります。

1. ピークをそのまま表示している場合 [間隔テキスト] 4-3-9
2. ピークを時系列で表示している場合 [間隔トレンド] 4-3-13

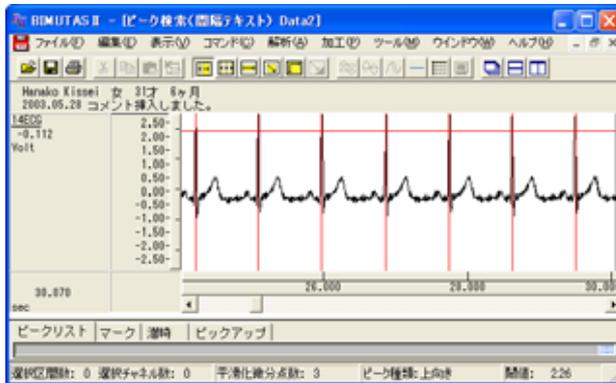
1. ピークをそのまま表示している場合 [間隔テキスト]

< 操作の流れ >

- RR 間隔 または Peak to Peak 間隔を表示する。
- タブ領域のピークリストを確認する。
- タブ領域内を選択し、コピーする。
- 表計算ソフト上で貼り付ける。

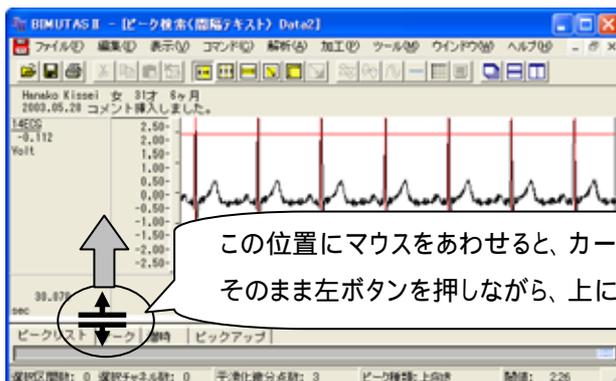
RR 間隔 または Peak to Peak 間隔を表示する。

「心電・脈波や呼吸の解析 3-1) RR 間隔または Peak to Peak 間隔を表示する」の手順に従い、下図のように間隔テキストを表示させます。



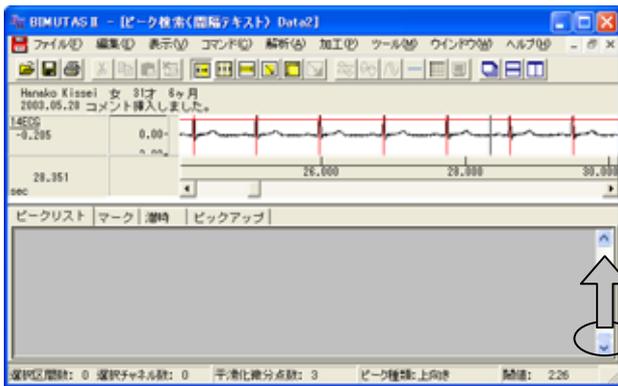
タブ領域のピークリストを確認する。

タブ領域を拡大して、ピークリストを表示させます。



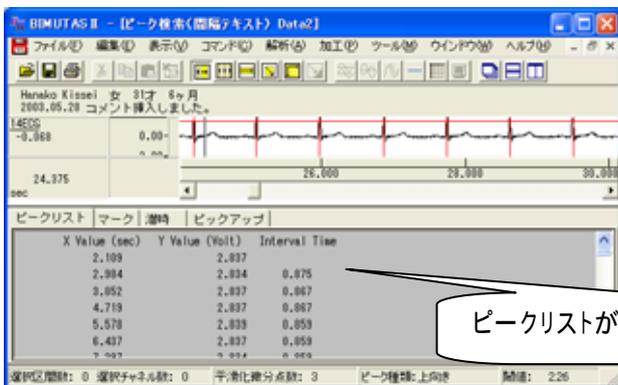
BIMUTASII を使用した解析手順

右端のスクロールを最上段まで押し上げます。



スクロールバーにマウスを合わせ、
左ボタンを押しながら
最上段まで押し上げます。

ピークリストが作成されていることを確認できます。



ピークリストが作成されています。

タブ領域内を選択し、コピーする。

「編集」メニューの「タブ情報」から「全て選択」を選びます。



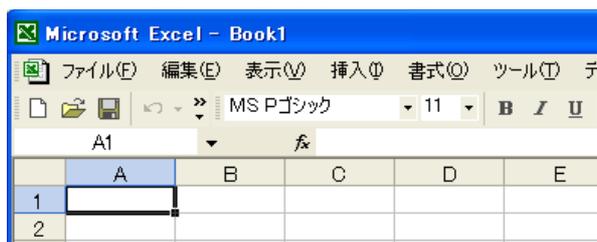
続けて、「編集」メニューの「タブ情報」から「コピー」を選びます。



BIMUTASII を使用した解析手順

表計算ソフト上で貼り付ける。

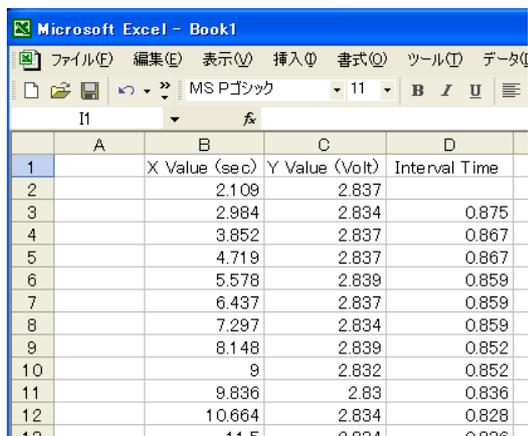
表計算ソフト(例:Excel)を起動します。



表計算ソフト上で「貼り付け」を選びます。



生波形上でのピーク位置 (X Value 時間)、ピーク位置での縦軸値(Y Value)、ピークとピークの間隔(Interval Time)が表計算ソフトに表示されます。グラフ等の加工を行うことができます。

A screenshot of the Microsoft Excel application window titled "Microsoft Excel - Book1". The spreadsheet grid shows columns A through D and rows 1 through 13. The data is as follows:

	A	B	C	D
1		X Value (sec)	Y Value (Volt)	Interval Time
2		2.109	2.837	
3		2.984	2.834	0.875
4		3.852	2.837	0.867
5		4.719	2.837	0.867
6		5.578	2.839	0.859
7		6.437	2.837	0.859
8		7.297	2.834	0.859
9		8.148	2.839	0.852
10		9	2.832	0.852
11		9.836	2.83	0.836
12		10.664	2.834	0.828
13		11.5	2.834	0.836

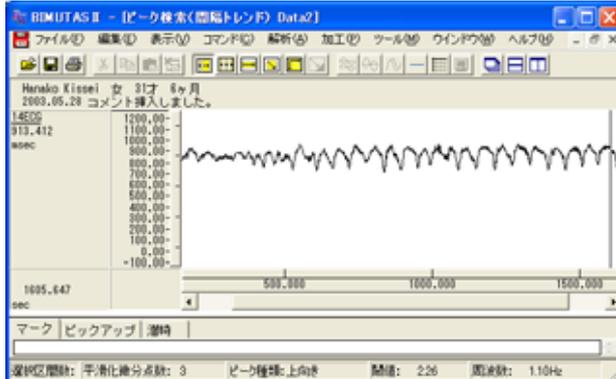
2. ピークを時系列表示している場合 [間隔トレンド]

< 操作の流れ >

RR 間隔 または Peak to Peak 間隔を表示する。
テキスト出力する。

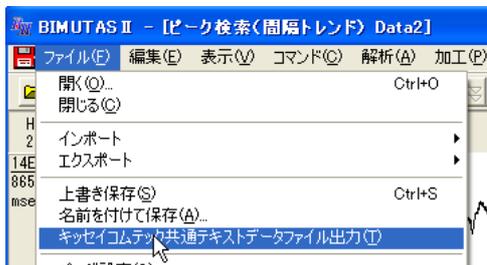
RR 間隔 または Peak to Peak 間隔を表示する。

「心電・脈波や呼吸の解析 3-1) RR 間隔または Peak to Peak 間隔を表示する」の手順に従い、下図のように間隔トレンドを表示させます。



テキスト出力する。

「ファイル」メニューの「キッセイコムテック共通テキストファイル」を選択します。



テキスト出力する先頭位置で、クリックをします。

